

科目名		<h1>小児科学演習</h1>	
科目責任者	楠原浩一	(小児科学 教授)	
担当者	保科隆之	(小児科学 准教授)	
開講時期:	2～3年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>小児科学に関連した臨床研究や実験室的アプローチを学び、新知見を見出す能力を身につける。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病原微生物の検出法や血清学的手法を論じることができる。</li> <li>2) 病原微生物の検出法や血清学的手法を臨床に応用することができる。</li> <li>3) 病原微生物の検出法や血清学的手法の臨床応用における問題点を論じることができる。</li> <li>4) 病原微生物の検出法や血清学的手法により得られた結果の意義を論じることができる。</li> <li>5) 小児神経学に関連した電気生理学的手法を論じることができる。</li> <li>6) 電気生理学的手法を臨床に応用することができる。</li> <li>7) 電気生理学的手法の臨床応用における問題点を論じることができる。</li> <li>8) 電気生理学的手法により得られた結果の意義を論じることができる。</li> <li>9) 免疫組織化学を用いた脳内ペプチドの分析法を論じることができる。</li> <li>10) 免疫組織化学を用いた脳内ペプチドの分析法を臨床に応用することができる。</li> <li>11) 脳内ペプチドの分析法の臨床応用における問題点を論じることができる。</li> <li>12) 脳内ペプチドの分析法により得られた結果の意義を論じることができる。</li> </ol>			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度30%、課題レポート30%等で総合評価する。		
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する。		